



研修会館完成予想図

澄みわたった北東の空に、御岳の霊峰がくっきりと浮かぶ季節となりました。同窓会員の皆様方には、ますますご健勝でご活躍のことと存じます。さて、創立七十七周年記念事業として、研修会館（セミナーハウス）を校地北東の一角に建設することになりました。その進行状況についてお知らせ致します。

実行委員会では、今年七十七周年を迎えた武義高校のセミナーハウス建設現場を見学したりして、四月以来何度も検討を重ねてまいりました。この会館を建設する第一の目的としては、後輩の学習を中心として研修の場をつくることとあります。進取の気概と至誠の心をもって、明日をきり

ひらくため日々練磨を怠らない後輩の研修会館として、十分な広さをもち、また多目的に利用できるよう慎重に検討をしました。

一階には、学習室としての機能をもった研修室が二つあります。二階には、二教室分の広さをもつ多目的ホールがあります。さらに百周年記念をめざしての資料の収集、保管、閲覧のための資料室も設けられます。平成三年三月に着工し、八月には、純日本風の研修会館が完成される予定です。

放課後の生徒の自主的学習の場として、またホームルーム活動やオリエンテーションに、あるいは長期休暇中の合宿などに利用が期待されています。

同窓生の皆様方にも十分ご利用いただけるものと考えております。地元はもろんのこと、県外でご活躍の皆様方にも、青春の思い出話に花を咲かせ、明日への活力の場としてご利用いただけます。

今回の創立七十七周年記念事業に際し、同窓会員の総意と総力とでこの大事業が完成されるよう、なお一層のご協力をお願い致します次第です。

つとに取り組まれております七十七周年記念誌は、五十年間記念誌を継承して二十年間の沿革と、資料・写真等を中心にした読みやすい記念誌をめざしています。貴重な資料のご貸与や原稿の応募にはぜひご協力いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

また、平成三年十月二十日の記念行事には、式典のほか、講演会を予定しており、著名な方を講師にお招きするよう交渉中であります。

皆様方のますますのご健康とご繁栄をお祈りいたします。

◇ ◇ ◇

武義高女跡地に記念碑

― 碑文の募集 ―

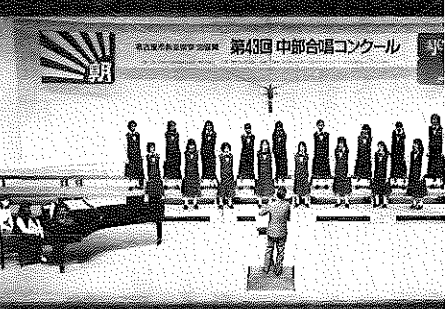
七十七周年記念事業の一環として、本郷町武義高女跡地に「高女ここにありき」の記念碑を建てることになりました。

高女の卒業生にとって思い出深いあの地が、時の流れとはいえ、今や保育園となり、校庭の松も枯れ、思い出をとどめるものが年々消えていきます。高女を偲ぶ何かを願う記念碑です。

高女の皆様に思い出となる碑文を考えていただきたいと思います。一月上旬までに関高事務局へ連絡してください。



第 21 号
発行 関高等学校
岐阜県立
同窓会
印刷 関印刷株式会社
校訓 進取
至誠
錬磨



関高祭

今年の関高祭は「破天荒！前人未踏の境地を拓け」をテーマとして九月十日～十二日に行われた。

文化祭においては生徒自らの「楽しめる学校祭」、「自由な発想をもとに個々のエネルギーをぶつけて創り上げていく」姿勢がみられ、三年生もクラス参加を大切に、多少の遊び感覚がみられた発表も少なくはなかったが、ク

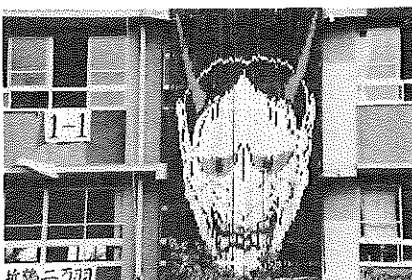
の幕を閉じた。

今年より応援合戦は一回となったが、短期間で、グラウンドでの練習も少なかつたにもかかわらず、各団ともリーダー、団員のまとまりがよく、白熱した応援合戦であった。競技種目は生徒の立案でリクリエーション的なものが多かったが、男子全員による「棒倒し」は壮観であった。北部の優勝で体育祭を終え、ファイナルでは破天荒の文字を風船で浮かべて学校祭の幕を閉じた。

し、最終五校に残り県大会へ出場したことです。また全日本合唱コンクール県大会では小編成の部で見事金賞を獲得し、三年ぶりに中部大会へ出場することができました。さる十月十三日名古屋市公会堂で、晴れの舞台にたちました。OBの方々も応援にかけつけて激励をして下さいました。人数、自由曲の難易度などの点で優良賞という結果に終わっています。また新しい目標に向い、ひとりひとりが合唱に対する情熱に燃え、少しでも良い合唱をと不足しがちな練習日数のなか、努力しています。

年にならない盛り上がり方であった。また、展示については「短期間でよくもあそこまで」と思わせる程、レベルの高い物もあった。

体育祭はグラウンド改修工事のため、中池グラウンドで東西南北の四分団に分かれて競い合った。今年より応援合戦は一回となったが、短期間で、グラウンドでの練習も少なかつたにもかかわらず、各団ともリーダー、団員のまとまりがよく、白熱した応援合戦であった。競技種目は生徒の立案でリクリエーション的なものが多かったが、男子全員による「棒倒し」は壮観であった。北部の優勝で体育祭を終え、ファイナルでは破天荒の文字を風船で浮かべて学校祭の幕を閉じた。



2万羽の折鶴でつくられた展示

寄附金の状況

七十七周年記念事業達成のため平成元年十月募金のお願いをいたしましたところ大勢の方々に協力いただきました。しかし、目標額達成までには程遠く、今年六月再度のお願いをさせていただきました。

平成二年九月二十日現在の募金額は、二千六百万円となっており、目標額は、四千万円ということで、今後さらにご協力いただかなければなりません。どうかよろしくお願い申し上げます。

おくやみ

森 薫先生
平成二年六月九日
七十八才にて
御逝去

小石 需先生
平成二年八月
二十三日
七十才にて
御逝去

ご冥福をお祈りします

編集後記

大変遅くなりましたが「桜ヶ丘だより二一号」をお送りします。前回の号までは読みづらいという意見もありましたので、紙面も文字もやや大きくしました。感想などありましたらご連絡ください。

学校内では来年に記念事業をひかえて多忙な日々ですが、念願だったグラウンド整備も成り、中庭には山茶花の美しく咲く良い環境で全員頑張っています。暇をみて母校へも足をお運びください。

平成二年度 同窓会名簿出版と お詫び

この度、名簿出版にあたり、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、出版社のミスで重大な間違いが生じました。出版社との話合いの結果、購入されました方にはしかるべき処置を講ずることにしました。追って出版社より連絡が参ることと思っております。ご了承ください。

また、依然不明のままの方もあります。今後住所変更等ありましたら、ぜひ事務局まで一報下さい。名簿をお求めの方は事務局まで。